（政務活動費用）　　（様式１）

出　張　報　告　書

令和７年12月３日

釧路市議会議長　畑中　優周　様

会 派 名　市民連合議員団
代表者名　宮田　団　印

次のとおり、政務活動費による出張を終えましたので報告します。

受　命　者	宮田　団、木村　勇太
出　張　先	台湾台北市、花蓮市
期　　間	令和７年11月10日～令和７年11月14日（５日間）
用　　務	台湾視察
調査（研修）結果等の概要	別紙参照
備　　考	

注）１　資料等がある場合、添付すること。資料は、事務局経由で会派へ返却するので、本出張報告書（原本）とともに会派で保管すること。

２　調査結果等の概要は、別紙による記載も認める。

令和７年度　台湾視察報告書

1. 視察概要

（1）視察期間

・市公式訪問団：令和７年 11 月 10 日（月）～11 月 14 日（金）

・釧路市立北陽高等学校訪問団：令和７年 11 月９日（日）～11 月 13 日（木）

（2）訪問先

台湾（台北市、新北市、花蓮市 ※一部行程はオンラインにより実施）

（3）訪問団構成

・釧路市議会：日台友好議員連盟 所属議員９名

・釧路市：市長、教育長、関係部局職員

・学校関係者：釧路市立北陽高等学校 生徒および引率教職員

2. 視察の背景と目的

本視察は、釧路市と台湾との長年にわたる友好関係を基盤とし、教育分野における国際交流の深化、環境・動物保全分野での協力関係の確認、さらには防災・危機管理分野における実務的知見の共有を目的として実施した。特に本年度は、釧路市立北陽高等学校の修学旅行と連動した事業として位置づけ、次世代を担う若者が国際社会に直接触れる機会を創出するとともに、都市間交流を多層的に進めることを狙いとした。

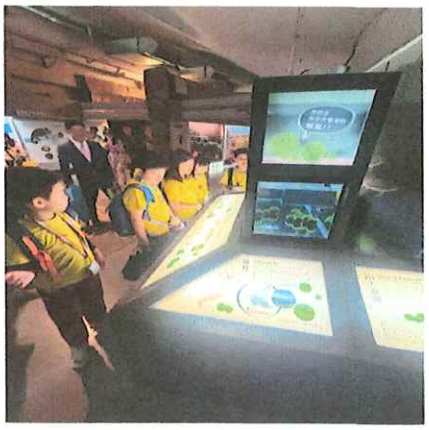
3. 視察行程と主な内容

（1）教育分野における国際交流の推進

台北市私立景文高級中学において、釧路市立北陽高等学校との姉妹校協定調印式を実施した。同校は普通科に加え、商業、情報処理、広告デザイン、外国語等の専門学科を有し、実学を重視した教育課程を展開している。単位制を導入する北陽高校との教育的親和性は高く、今後はオンライン授業での交流、共同学習、相互訪問など、継続的かつ実効性のある交流事業を推進することを確認した。

（2）環境・動物保全分野での連携

台北市立動物園を視察し、釧路市から寄贈されたタンチョウおよび阿寒湖産マリモの保全・展示状況を確認した。タンチョウについては、長期的な繁殖・保護プロジェクトの継続に向け、台北市教育局を中心とした行政的支援体制と、民間企業によるスポンサーシップを組み合わせた複線的な資金確保の方向性について協議を行った。また、異なる気候帯を活かした生息域外保全の意義を改めて共有した。



（3）行政交流および都市間連携
台北市役所を表敬訪問し、副市長との会談を通じて、教育交流や環境分野でのこれまでの成果を確認した。あわせて、今後の交流継続に対する期待が示され、2026 年に開催予定の台北ランタンフェスティバルへの公式招待を受けた。本市としても、観光・文化分野を含めた多角的な連携の可能性について意見交換を行った。

（4）防災・危機管理分野の視察
花蓮市においては、0403 地震への対応を中心に、防災体制および復旧・復興の取り組みについて視察を行った。官民連携による避難所運営、要配慮者への迅速な支援体制、民間団体と行政が役割分担を明確にした支援スキームは、本市の防災施策を検討する上で大変有意義な知見であった。

4. 総合的な成果と評価
本視察は、台風の影響により一部行程変更を余儀なくされたものの、結果として危機管理対応を含めた実践的な学びを得る機会となった。教育分野では次世代育成を軸とした国際交流の具体的な道筋を確認し、環境分野では長年の協力関係を基盤とした新たな連携の可能性を見出すことができた。さらに、防災分野においては、災害対応の実務に直結する知見を得るなど、多方面にわたる成果が得られた。

5. 今後への示唆
今後は、本視察で得られた成果や知見を、市政運営や教育施策、防災計画等に適切に反映させていくことが重要である。特に、高校生を中心とした継続的な国際交流は、将来の地域を担う人材育成の観点からも大きな意義を持つ。本市としては、台湾との信頼関係を一層強化し、分野横断的な交流・協力事業へと発展させていくことが期待される。